

な

ご

み

つ

う

し

ん

発行日：平成 29 年 1 月 27 日（第 35 号）

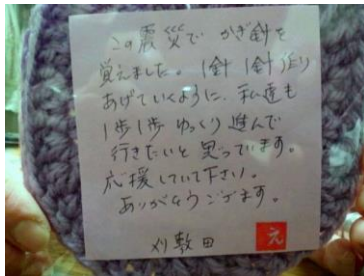
発行：島田療育センターはちおうじ

2011 年（平成 23 年）4 月 1 日に、島田療育センターはちおうじは歩みを始めました。それは、東日本大震災の年でした。1 年後、あくりるたわしの活動を手伝えることができ、相馬と私の物語が始まりました。そんな物語を紹介しす
(3)。 所長 小沢 浩

(3) 歩み

私たちの活動が、本格的に始まった。あくりるたわしは、少しずつでも着実に広がっていった。1000枚、2000枚、3000枚と。

そのたわし一つ一つには、メッセージが書かれていた。思いが詰まったメッセージ。そのメッセージを紹介する。



・震災で住む所や仕事など色々な物をなくし、ただ今は家族が無事で暮らしている、それだけで良かったと思っています。

・今年は桜がきれいに咲きました。去年はあんな震災のあと、咲いたのでしょいか？花をながめる余裕がありませんでした。今は花にいやされています。

・仮設に落ち着き早・・・1 年になろうとします。自宅再建はまだまだ考えられませんが、毎日夢中で暮らしております。70 歳からのスタートです。がんばります。

・震災前と今とでは生活かんきょうが大きく変わってしまいました。以前の生活に戻る事は出来ませんが、今出来る事をして行こうと思っています。

・絆、人の温かさをこんなに有り難く思ったことはありません。70 歳、人生最終のスタートです。がんばります。

・不安はまだまだ尽きません。しかし、編んでいる時は、とても楽しい時間です。本当に感謝しています。

・震災から月日が流れ私達の生活に笑顔が増えました。大変だったあの思いを忘れずこれから生きていきます。がんばります！！

・空気が春、新緑を運んできています。これからの未来が楽しみです。まだまだ考えることは沢山ありますが、夢を見ながら頑張りたいと思います。皆さんに感謝でいっぱいです。

・夢中でたわしを編んでいると病気の事も忘れてるのがうれしいです。気持ちも明るくなり、元気になりました。応援してくれて多くの皆様に感謝です。ありがとうございます。

・“笑顔”心から純な気持ち、いっぱい笑いたい。みなさんの励ましで私たちの心がやすらぎ、笑顔になれています。ありがとうございます。

・花木の色づきが変わっていても自分の心の中の色はまだグレー。パステルカラーになるまで頑張りたい。編み物をしている時はパステルカラーになれる。応援ありがとうございます。

・今度の被災で感じたことは、人間悪い人ばかりでない、良い人の多い事。自分の事よりも被災者の事を思っただけの支援物資だと思います。本当に感謝です。ありがとうございました。

・あくりるたわしを編んでいる時が一番幸福な気持ちになり、心が優しくなるような気がします。ありがとうございます。

・手と手を取ってつながっている。前進するにも皆の手をかりてありがたい気持ち、いつまでも胸にいただいています。

・毎日ボーッと過ごしていましたが、でも編み物をさせていただいてからデザインや色合いを考えたりと楽しみが出来ました。ありがとうございます。

・私は編み物をしています。皆の顔が見えてきます。頑張る事で勇気づけられています。頑張れ相馬！！

(※現在、あくりるたわしは卒業したため、注文は受けていません。)

(奇跡がくれた宝物 小沢浩著
クリエイツかもがわ より)

